



We



Society



Environment



People



Future



Performance

NTT Communications Corporation CSR報告書 2015



社会へ、世界へ、価値を創造する



Global ICT Partner
Innovative. Reliable. Seamless.

目次



ごあいさつ.....02



事業とサステナビリティ03



社会への貢献.....06



地球環境保護.....08



人材の尊重10



さらなるイノベーション12



CSR活動の成果.....14



報告媒体について15
会社概要.....15

CSR報告書 2015の使い方



表紙について

私たちは、世界各地のさまざまな場所で、ビジネスや日常生活をICTの力で支えています。技術革新(イノベーション)により世界のポータレス化、経済のグローバルシームレス化が加速する中、私たちはグローバルかつ多様な視点を大切に、より良い未来の実現に貢献していきたい。そのような思いを表紙にしました。

ごあいさつ

社会的課題の解決と持続的発展のため、 グローバルな視点で貢献してまいります。



NTTコミュニケーションズ株式会社
代表取締役社長

庄司 哲也

私たちNTTコミュニケーションズグループは、最新のテクノロジーと安心・安全で信頼性の高いICTサービスの提供を通じて、企業の経営改革に貢献するとともに、個人のライフスタイルを充実させていく最適なパートナーでありたいと考えています。

企業活動において求められる、的確で迅速な判断や行動は、今やそれを支える事業基盤としてのICT環境が整備されていなければ成り立ち得ないの言うまでもありません。

このような視点にたち、私たちは、「グローバルクラウドビジョン」を策定し、クラウドやネットワーク、セキュリティなどの革新的サービスを幅広くラインナップしております。また、それらをさらにグローバルに、シームレスに展開し、提供することで、お客様の事業運営のスピードを向上させるとともに、競争力の強化に貢献し、新市場の開拓・参入などをサポートします。

個人のお客様に対しては、新しいライフスタイルを便利に安心して楽しんでいただけるようなサービスを今後も提供し続けていきたいと考えています。そのために、さまざまなサイバー脅威からお客様を守りつつ、新しい価値あるサービスをお届けすべく、迅速かつ敏感に対応してまいります。

今後も常に市場の動向とお客様のニーズを素早く的確に把握し、革新的で信頼性の高いサービスを提供し続けられるよう、さらにスピードを上げて取り組んでいくとともに、私たち自身が社会の一員として責任ある行動に努めてまいります。また、これらの取り組みと併せて、全世界のお客様をはじめ、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを大切に、「Global ICT Partner」としてふさわしいCSR活動に取り組み、社会の課題解決および持続的発展への貢献に、引き続き精進してまいります。

事業概要



グローバルなICTサービスを ワンストップで提供しています。

業界最高レベルの高品質な設備と全世界統一のオペレーションにより、コロケーションサービス、ホスティングサービス、ネットワークサービス、セキュリティサービスなどをグローバルシームレスに提供し、全世界のお客さまから選ばれるパートナーを目指します。

システム/ネットワーク両面から
最適なソリューションを
ワンストップで提供します。



データセンター

災害に強く、先進の省エネ性能を備えた高品質で環境負荷を低減した次世代グローバルデータセンターサービスを提供します。



ネットワーク 監視

海外現地ヘルプサービスと組み合わせ、万が一の回線障害時でもお客さまのビジネスへの影響を最小化する常時監視を実施しています。



トータル オペレーション

他社サービスも含めたICT環境全体に対して、監視・トラブル復旧・原因究明・対策検討・変更管理まで国際標準であるITIL*に準拠したトータルオペレーションを提供します。

* Information Technology Infrastructure Libraryの略。ICTサービスの運用・管理におけるベストプラクティス、ノウハウをまとめた書籍群として、業界標準として認知されている。



海外拠点 ソリューション

海外拠点のネットワークから LAN、サーバーの設計・構築、アプリケーションまで、いかなる脅威にも対応する安心・安全なグローバルICT環境をお客さまに提供します。



セキュリティ コンサルティング

設計から導入・運用まで、経験豊富なセキュリティコンサルタント・エンジニアによる専門性の高いセキュリティサービスを提供します。



ICTアウト ソーシング

お客さまの企業規模・ニーズに合わせて、高品質・安心・安全・簡単に利用いただけるICTシステムを構築するだけでなく、その運用管理・セキュリティ対策など、お客さまのICT要員になり代わり対応します。

ステークホルダーとCSR基本方針

Global ICT Partnerに
ふさわしいCSR活動の実践に
努めています。

NTTグループの一員として
NTTコミュニケーションズグループ
のCSR基本方針は、NTTグループCSR
憲章を踏まえて定めており、グループ
一体となり社会の課題解決に取り組
んでいます。



NTTコミュニケーションズグループのCSR

CSR基本方針

(2006年策定)

私たちNTTコミュニケーションズグループは、グローバルICTパートナーとして、情報通信サービスの提供を通じて、グローバル規模で社会の新たな価値創造や課題解決に取り組み、豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。

お客さま

1. お客さま第一の視点で、お客さまにとって本当に価値あるサービスを提供します
2. NTTコミュニケーションズグループの社員としての責任とプライドをもって、スピーディ・柔軟・誠実に対応します
3. お客さまとの永続的な信頼関係を築きます

ビジネスパートナー

1. お客さまに提供する価値を最大化するために、パートナーとより良い協力関係を築きます

株主

1. 事業活動に関する情報を公正・正確・タイムリーに開示します
2. 企業として絶え間ない成長を続け、株主の利益を高めるように努めています

CSR重点活動方針

(2011年策定)

CSR基本方針を継続的に実践するための具体的な目標を設定しています。また、環境面については「環境ビジョン」を別途設けるなど、事業の特徴を踏まえた活動を重視しています。

- 安心・安全な社会の実現
- 新しいビジネスモデルやライフスタイルの提案・提供

社会

1. サービスの提供を通じて、ICT社会の健全な発展に貢献します
2. 社会とのつながりを大事にし、地球環境保護に貢献します
3. 世界各国の文化・慣習を理解し、尊重します

競合会社

1. ルールを守り、フェアな競争を行います

社員・職場環境

1. 個性と多様性を認め、お互いの人権を守ります
2. お互いを信頼・尊重し、自己実現を図るのにふさわしい環境をつくります
3. ICT企業として、セキュリティ保護に全力を尽くします

社会への
貢献地球環境
保護人材の
尊重

- 事業活動における環境保護
- サービスの提供を通じた環境にやさしい社会の実現

- 多様性の尊重
- 自己実現を可能とする職場環境の整備
- パートナーの皆さまと高い倫理観を持ち、企業活動を通じて社会的責任を果たす

サステナビリティの考え方

私たちのサステナビリティ経営は、重点領域に即した継続的な取り組みを基礎としています。
その上で、ICT企業の特性を活かしたCSRとして、「より良い未来への価値創造」を推進しています。

4つの重点領域に即した継続的なCSR活動

CSR基本方針に即した3領域に経営の基盤である「ガバナンス」を加えた4領域を、
「重点活動領域」と定めています。これに継続的な目標「CSR指標」を設定し、日々のCSR活動を推進しています。

NTTコミュニケーションズグループ CSR重点領域

社会への貢献

地球環境保護

人材の尊重

ガバナンスの向上

重点領域に即した「CSR指標」による、継続的な改善

➔ CSR活動の成果へ

「より良い未来への価値創造」のグローバルな推進

社会の課題解決に寄与する製品・サービスの開発に、さまざまなステークホルダーの期待が集まっています。
私たちは、「より良い未来への価値創造」をグループ全体の課題と位置づけ、事業開発を推進していきます。



社会への貢献



地球環境保護



人材の尊重



さらなるイノベーション



社会への貢献



ICTを通じた社会への価値創造
Shenton Way, Singapore

1°22N, 103°55E

海を超える拠点網 日々、1秒を争う経営判断を ネットワークで支える

ビジネスのグローバル化に伴い、
企業ネットワークも広域化しています。
ビジネスパーソンにとり、
各国拠点間を高速かつ安全に接続できる
仮想プライベートネットワーク (VPN) の
重要性が増しています。



Society

クラウド技術と仮想化技術を活用した
最先端の企業ネットワークづくり

ネットワーク環境の構築まで仮想化し一括管理する
Arcstar Universal One

ユビキタス社会を実現するため、ICT企業だからこそ担
える責任があります。NTTコミュニケーションズはクラ
ウド技術と仮想化技術を融合し次世代のソリューション
を提供しています。世界の拠点間でシームレスな仮想ネッ
トワークを構築。煩雑なネットワーク設定の一括管理を
実現するだけでなく、強固なセキュリティと高い信頼性で
守られた企業ネットワークを、同じオフィスに居るよう
な感覚で利用できる環境を、グローバルに実現します。

Arcstar Universal One アドバンスオプション

先進の仮想化技術<NFV>を採用
高速でセキュアな企業ネットワークを

世界 **190以上** の国/地域で利用可能

NFV Platform



社会への貢献



事業を通じ、新たな価値の提供と、より良い社会づくりへの貢献を。
私たちは多面的な活動を通じ、グローバルICT企業ならではの挑戦を続けます。

社会と私たち

日々、新しいICT技術が生まれ、経済活動のパラダイムが変わり続けています。私たちNTTコミュニケーションズグループは、グローバルなICTリーディングカンパニーとして、高信頼で高品質な通信インフラを実現することはもちろん、社会やお客さまに最先端の技術をご提供し社会課題の解決に資することを重視し、日々の業務に臨んでいます。

また、ICTを活かした社会貢献活動の在り方も常に模索しています。これらを取り組みの柱とした多面的な活動を展開することで、社会のさまざまなコミュニティと共榮しつつ、より良い未来に寄与していきます。

取り組みの柱

- 1 ユビキタスネットワークインフラの整備
- 2 重要インフラとして高い安定性と信頼性の確保
- 3 社会貢献活動

働き方改革を促進する クラウド型コンタクトセンター

少子高齢化社会への対応や、多様性の積極活用に社会の関心が集まる中、育児期間の女性など在宅ワークを希望する方々を活用する仕組みづくりがクローズアップされています。

NTTコミュニケーションズはクラウド型の「Arcstar Contact Center」を開発し、2014年5月からサービスを開始しました。

同サービスはコンタクトセンター業務に関わるアプリケーションや顧客データベースをクラウド上で運用するものです。同サービスにより、コールセンター業務を行う企業にとっては、固定費を抑えつつ強固なセキュア環境を持ったコンタクトセンターをフレキシブルに増床/減床できるというメリットがあります。一方、このようなサービスが社会に幅広く浸透することで社会的には、「在宅ワーカーとしてコンタクトセンター業務を続けたい」という皆さまに対して一層の働き口の門戸が広がり、ひいては社会としての働き方改革の促進にもつながるといったメリットがあります。

Our Action 01

クラウド技術で拓く
多様な人々が活躍する未来

フィリピン台風被災地で進む 「移動式ICTユニット」国連プロジェクト

自然災害の被災地では、生活インフラである情報通信のいち早い復旧が課題となります。NTTおよびNTTコミュニケーションズは、東日本大震災での教訓を活かし、短時間に被災地に投入でき、柔軟かつ簡易にICTサービスを提供できる「移動式ICTユニット」の研究開発を進めてきました。その成果は世界的に注目を集め、2014年12月より、国際連合の専門機関の1つである国際電気通信連合（ITU）の実証研究プロジェクトとして、フィリピンのセブ島において、台風被災地の復旧に寄与するべく投入されています。

同プロジェクトでは、セブ島の自治体職員や住民の皆さまのご協力のもと、ICTユニットの有用性を検証しつつ、現地の通信網の復旧までの「日々のコミュニケーション」を支えます。今回の結果を踏まえ、移動式ICTユニットは、世界の被災地へのさらなる投入も視野にいたした改善を図っていきます。

Our Action 02

被災地の教訓を
世界で活かすICT

地球環境保護



ICTを通じた地球環境への価値創造
Sacramento, CA, the U.S.

38°33N, 121°28W

世界各地で、ビジネスと 日常生活を支え続ける データセンター その低炭素化は グローバルなミッション

クラウドサービスの浸透や情報のビックデータ化などに伴い、
データセンターの活躍の場は広がり続けています。
世界各地で建設が進むデータセンターでは、
さまざまな低炭素化技術を活用し、
各地域の環境特性にふさわしい設備づくりが徹底されています。



Environment

先進の空調設備を随所に採用した、
グリーンなデータセンターの建設

シリコンバレーのICT企業を支える、
次世代のデータセンター

カリフォルニア州に2014年4月にオープンしたサクラメント 3 (CA3) データセンターは、地盤が安定したロケーションであると同時に国際空港より車で15分と至近です。多くのICT企業に注目される同データセンターでは、安全性はもちろん、環境性能にも優れています。具体的には、外気冷房や水冷空調などを備えた、先進の空調設備を採用し、効率的な温度管理ひいては高い省エネルギー性を実現しています。

次世代のデータセンターサービス Nexcenter
業界最高レベルの高品質なサービスを全世界

140拠点以上で展開

次世代のデータセンターサービス

Nexcenter

地球環境保護



次の世代に、豊かで多様性に富んだ地球を。

私たちは「グリーンICT」を合言葉に、低炭素社会の実現に貢献します。

社会と私たち

世界各地の異常気象や地球温暖化の対策として、CO₂ 排出量削減の必要性が唱えられています。しかし、十分な成果を挙げているとはいえません。さらに踏み込んだ対応が急務となる現在、私たちNTTコミュニケーションズグループは、ICT 機器を活用したサービスを提供する企業グループとして、その低炭素化に積極的に臨んでいます。

これに加え、循環型社会の推進、生物多様性の保全といった、「次の世代に豊かな地球環境を託す」ための多面的な取り組みを積極的に展開することで、グローバルなICTリーディングカンパニーとしての責任を果たしていきます。

取り組みの柱

- 1 低炭素社会の実現
- 2 循環型社会の推進
- 3 生物多様性の保全

地球にやさしく、地域と調和した データセンターの実現

データセンターの低炭素化の実現には、最先端の省エネ機器の導入に加えそのきめ細かな制御による効率的な運用が重要です。

NTTコミュニケーションズは、サーバールーム内に設置したセンサーから集められた温度データをもとに空調装置を効率的に制御する「SmartDASH[®]」*の導入により、空調消費電力を従来比で約20%削減しています。他にも、これまで個別に制御していた屋外水冷機(チラー)と送水ポンプを連携して制御する「統合空調制御システム」の実証実験を進め、データセンターの消費電力をさらに低減する取り組みを行っています。

また、都市部のデータセンターでは近隣配慮の観点から、屋上緑化など敷地内の緑地化を進めるとともに、遮音などにも留意し、地域と調和したデータセンターを目指しています。

*「SmartDASH[®]」は米国 Vigilent 社の登録商標です

Our Action 01

先進の省エネ機器を活かす
洗練された統合制御システム

データセンターのノウハウを活かした、 通信設備の低炭素化

データセンターの低炭素化で得たさまざまな知見は、私たちの通信事業を担う施設にも適用を進めています。例えば各地の通信ビルの通信機械室では、「気流カイゼン」活動として、2011年度より各種施策を展開中です。

「気流カイゼン」活動では、空調の冷気が吹き出す床パネルの適正な配置や、過剰な冷気の流れを止めるため吹き出し口をふさぐなど冷却効率の向上を図っています。また、「SmartDASH[®]」のセンサーが、より正しい温度を検知できるよう取り付け位置の見直しを行い、冷やし過ぎや冷却不足を改善しています。さらに、機器が設置されていない未利用エリアをシートやパネルでふさぎ、また、ラック内の機器未搭載部分へブラックパネル(気流ふさぎ板)を設置するなど、無駄を排して効率的に気流を確保する施策により、冷却効果の向上を図っています。

設定温度の適正化と併せ、これらの施策は着実に成果を挙げており、2011年度電力使用量と比較した場合、2014年度実績で約0.6億kWh、2015年度では約0.9億kWhの低減を見込んでいます。

Our Action 02

きめ細かな運用改善による
低炭素化

人材の尊重



ともに働く人々への価値創造
Tokyo, Japan

35°41N, 139°45E

ビジネスの基本は「人」 多彩な才能が生み出す 多様な意見の融合が 新たな価値を創る

グローバルシームレス化する世界経済で、
企業と社員がともに育ち続ける関係を育み続けるため
多様性を活かし、高めあう職場づくりが
多面的に加速しています。



People

「プロフェッショナル」を定義した
きめ細かい人材育成

グローバルICT企業が求める人材像と必要スキルを見据えた「プロフェッショナル人材育成プログラム」社員の多様性を活かしつつ、プロとしての成長を促すことが、NTTコミュニケーションズの人材育成施策の重要な考え方です。具体的には、社員としてお客さまや社会から期待されるプロフェッショナル人材像を9つの専門分野と各サブカテゴリーごとに設定。社員とともに次のステップを考える体制を構築しています。また、グローバルに活躍するための必要なスキルを示し、グローバルな活躍を後押ししています。

プロフェッショナル人材育成プログラム
世界で活躍する **ICTスペシャリスト** を育成

ICTスキル

+

グローバルスキル

人材の尊重



**社員と企業がともに成長しあうサステナブルな関係を。
私たちはグローバルな視点を持った専門家集団であり続けます。**

社会と私たち

社員は企業の業務を担う存在であると同時に、日々、企業と接する「最も近い場所にいるステークホルダー」でもあります。私たちNTTコミュニケーションズグループは、社員とのサステナブルな共栄関係を構築するため、グローバル化する事業を見据えた先進的な人材育成施策を構築しています。

近年、多様性を活かす経営に世界的な関心が集まる中、社員の健康維持はもちろん、多様性を競争力へと換えるための取り組みを重視し、女性の積極活用や働き方改革の促進、グローバルな人事交流など多面的な施策に挑戦しています。

取り組みの柱

- 1 人材の育成と評価
- 2 多様な人々が活躍する職場づくり
- 3 社員の健康維持・増進

グローバルな視点を培うファンダメンタルプログラム

お客様のビジネスのグローバル化をうけ、私たちの事業も「グローバルシームレスなサービスを、グローバルワンチームで」ご提供することが重要となっています。このような背景から創設されたファンダメンタルプログラムは、海外現地法人の社員が約6カ月間、日本のNTTコミュニケーションズ本社で勤務する研修プログラムです。

同プログラムを通じ、参加者にはグループ全体を見渡せる視野を獲得し、帰国後にはグループ間のチームプレーの「かけはし」となる人材となっただくことを目的としています。また、NTTコミュニケーションズにとっても、研修生たちがもたらすグローバルな視点への気づきが多く、グローバル企業として有意義なプログラムとなっています。

2014年の同プログラムは2014年3月から7月にかけて展開し、総計24名の海外現法社員が参加しました。また2015年のプログラムも2015年3月より開始しており、昨年と同様に24名が参加しています。

Our Action 01

**グローバルワンチームの
「かけはし」となる人づくり**

女性の多様性を活かす、次世代リーダープログラム

国内の少子高齢化に伴い、今後、労働力人口が減少する中、企業の成長・競争力向上のための優秀な人材を確保するには、性別・年齢・国籍などを問わない多様な人材を登用し、その人材が活躍できる環境を整えることが必要不可欠です。NTTコミュニケーションズでは、経営ビジョンの実現に向け、女性をはじめ多様な社員が活躍できる経営環境の整備に取り組んでいます。

例えば、「次世代女性リーダープログラム」は、私たちNTTコミュニケーションズグループの次世代を担うリーダーとして活躍できる女性社員を育成することを目的として実施しています。同プログラムでは、①リーダーとして活躍するために必要な「説得力のある結論を導き、合意形成をしながら組織を動かすためのスキル」の習得に向け、経験を積むとともに、②女性社員が自らの将来像とその実現に向けたキャリア開発プラン(CDP)を明確にします。約半年にわたる同プログラムが、それぞれの目標に向けた自己成長を図りリーダーシップを引き出す契機となり、ダイバーシティ&インクルージョンの第一歩である、女性社員の活躍推進につながると考えています。

Our Action 02

**女性のリーダーシップを
引き出すプログラム**

さらなるイノベーション



明日を見据えた価値創造
All-Japan

「もしも」に備える 身近な端末を活用した ソリューションが 人々の日常を見守る

自然災害や不測の事態に備え、
自身の安全を守り、
家族との連絡を確保するための活用が
携帯端末に期待されています。



Future

多様な端末で利用可能な
防災・減災アプリケーションの開発

災害情報と連絡手段を連携し、
利便性を向上したスマートフォン向け
「goo 防災アプリ+ goo 防災マップ」の開発・提供
東日本大震災の経験や近年の異常気象などを背景に、
国や自治体は、防災情報や避難誘導などの発信強化を
進めています。市民の方々にも、防災に関する情報収集や
災害時の伝達方法の確保など、防災意識が高まっています。
これらを受け、NTTレゾナントでは、災害時に必要と
される情報を1つのアプリで収集すると同時に、SNSなど
に安否情報を発信できる防災ポータルアプリ「goo 防災
アプリ+goo 防災マップ」をリリースしました。

goo 防災アプリ+ goo 防災マップ

国土地理院主催

第2回「防災アプリケーション賞」受賞



さらなるイノベーション



より良い未来に向け、種まきとなる技術開発を。
私たちは社会課題の解決に向け新たな価値を創造し続けます。

社会と私たち

世界には、経済や社会の在り方を大きく変えつつある「潮流（メガトレンド）」が数多く存在し、それぞれが解決すべき社会課題を惹起しています。私たちNTTコミュニケーションズグループは、グローバルなICTリーディングカンパニーとして、これらの社会課題の解決に結びつくような技術の開発とサービス化に積極的に取り組んでいます。

先進の技術をグローバルなサービス網を通じて提供し続けることで、社会の幅広いステークホルダーと、安心・安全そして快適な社会を共有することが、私たちの日々の事業そのものであると同時に、私たちの考える未来志向のサステナブル経営の基本でもあります。

既存インフラを活かすIoT技術

日常生活に関わるさまざまな機器がインターネットでつながり、情報を共有しあう「モノのインターネット化（Internet of Things: IoT）」が、ネットワーク技術の革新（イノベーション）により急速に進みつつあります。特に生活インフラのIoT化は、人々の日常生活を大きく変える力を秘めており、世界的なメガトレンドとして注目されています。日本においても、さまざまな企業が業界をまたぐ研究を進めています。

NTTコミュニケーションズも、自社の持つビッグデータ解析技術などを活用し、IoTを通じ人々の安心・安全で快適な生活に貢献する方法の模索を続けてきました。先進的な研究の結果、2014年度にはTOTO（株）とタイアップし便器が計測した排せつ物情報から大腸がんの早期発見などの健康管理を行う「おならビッグデータ」ソリューションを発表しました。

また、自治体とタイアップし水道メーターの計測情報から独居老人の生活状況を把握し安否を見守る「水道スマートデータ」の実証実験を実施しています。

より安心で快適な日常を実現するイノベーション

自然災害の激甚化も、世界的に注目されるメガトレンドです。防災・減災に向けた産官学連携が世界各地で加速する中、総務省では、東日本大震災の被災地復興に際しICTを活用した効率的かつ創造的な復興を模索し、その一環として「被災地域記録デジタル化推進事業」を展開しています。

同事業は、宮城県および県内33市町村が、散逸が懸念される被災記録を後世に伝承するため、県内の震災記録を収集・公開するシステムを構築する事業です。NTTコミュニケーションズは、仮想現実（AR）画像処理などデジタル技術を活かし、被災地の方々に雇用しつつ同事業に参画しています。

同事業は、内外の自治体の将来の災害対策に被災地の経験を無駄にせず役立てていただくという、重要な使命を持っています。同時に、長期間の保存が可能で、かつネットを通じ幅広い方に情報へアクセスできるというデジタルデータの特性を活かし、記憶の風化防止や国内外の防災活動の一助になることを期待しています。

Our Action 01

より安心で快適な日常を実現する
イノベーション

Our Action 02

防災・減災に貢献する
イノベーション

CSR活動の成果



重点領域に即した2014年度の 主な活動をご紹介します。

	特に重視している項目	社会の問題・注目点	2014年度の主な活動
社会への貢献 私たちは常に社会から信頼されるよう行動します。	<ul style="list-style-type: none"> ● ユビキタスネットワークインフラの整備 ● 重要インフラとして高い安定性と信頼性の確保 ● 社会貢献活動 	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業活動のグローバル化 ● IoTの進化と社会のスマート化 ● 企業市民活動の浸透 	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバルクラウドビジョンに伴うサービスのグローバル化推進 ● IoT技術を用いたサービスの展開 ● グループ各社による社会貢献活動
地球環境保護 私たちは美しい地球とそこに生きるすべての生物の共存に寄与します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 温暖化防止 ● 廃棄物削減 ● 紙資源削減 ● 生物多様性の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地球温暖化 ● 資源の希少化 ● 生物多様性の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ全社で電力削減推進 ● グローバル環境マネジメントの体制強化 ● 廃棄物の最終処分率改善
人材の尊重 私たちはお互いを信頼・尊重し、自己実現を図るのにふさわしい環境をつくりまします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様性の尊重と機会均等の推進に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ● 少子・高齢化社会の加速 ● 多様性を活かす社会づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバル人材育成の強化 ● 多様な人材が活躍できる環境の整備
ガバナンスの向上 私たちは経営の透明性と健全性を確保することを最重要課題として位置づけています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報セキュリティの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ● サイバー犯罪の深刻化 ● 企業統治への関心の高まり ● 人権意識の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社内におけるセキュリティ意識の向上 ● 情報システムの脆弱性診断の強化 ● 海外グループ会社におけるセキュリティ調査の徹底

報告媒体について

CSRサイト



<http://www.ntt.com/csr/index.html>

CSR活動の最新情報を随時更新。NTTコミュニケーションズグループ各社のCSR活動をご覧ください。

CSR報告書サイト



<http://www.ntt.com/csr/report2015>

「NTTコミュニケーションズグループCSR報告書2015」の内容を網羅的に掲載しています。「ハイライト版」と「詳細版」の2部構成として、媒体ごとに想定読者を意識し効果的な情報提供を目指しています。なお、2012年版よりICT企業ならではのCSR報告として、報告の電子媒体化を実施しました。

「ハイライト版」では、NTTコミュニケーションズグループのCSR活動の中から、より重要度が高い取り組みを一般の方でもわかりやすくご覧いただけるよう紹介しています。

「詳細版」では、NTTコミュニケーションズグループのCSR活動事例や詳細データを網羅的に掲載し、多くの具体的な事例をご覧いただける内容としています。

●対象期間

2014年度: 2014年4月1日～2015年3月31日

(報告の一部に、同期間の前後の活動と取り組み内容も含め掲載しています。)

●発行情報

発行日: 2015年11月

(前回発行:2014年10月、次回発行:2016年10月予定)

会社概要

会社名

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
NTT Communications Corporation

本社所在地

〒100-8019
東京都千代田区内幸町1丁目1番6号

営業開始日

1999年7月1日

資本金

2,117億円

従業員数

6,500人(2015年3月31日現在)

事業内容

電気通信事業等

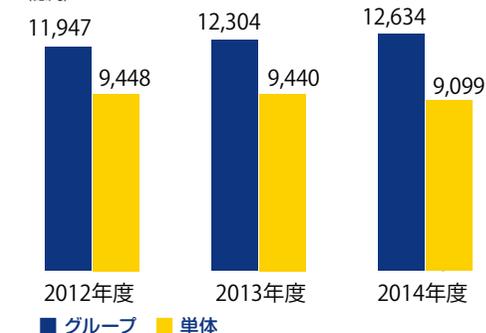
世界で評価されている実績

- Telecom Asia Awards 2015
において3部門を受賞
- Asia Communication Awards
2015においてOperator of
the YearおよびBest Enterprise
Serviceを受賞
- 英国Ocean82社の第18回「国際
データ通信サービスのグローバル
顧客満足度調査」において、
グローバル通信事業者として3回
連続で総合顧客満足度1位を獲得



World-Class ロゴ

営業収益 (億円)



営業利益 (億円)



従業員数 (人)

